

授業科目 地域作業療法学

【担当教員名】 今 西 里 佳		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 地域リハビリテーションの理念を理解し、地域作業療法の役割、多職種協業のあり方について習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 地域リハビリテーションの理念、役割、システムの概要を述べることができる。 2. 地域作業療法に関連する諸制度と作業療法との関わりについて説明できる。 3. 地域作業療法に関わる多職種の役割と作業療法との関わりについて説明できる。 4. 生活障害の捉えかた、生活の構造的側面について述べるができる。 5. 在宅高齢障害者に対する評価及び援助について述べるができる。 6. 精神科領域の地域生活支援のあり方について述べるができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域リハビリテーションの理念、役割、システム			1	講義・討論
2	介護保険制度			2	講義
3	介護保険制度			2	講義
4	介護保険制度と作業療法			2.3	講義
5	ケアマネジメント			3.4	講義
6	ケアマネジメント演習			3.4	演習
7	生活障害、生活の構造的側面の捉え方			4.5	講義
8	在宅支援における多職種協働			3	講義・討論
9	高齢領域における評価・指導・援助法			5	講義・演習
10	障害者自立支援法			5	講義・演習
11	包括型地域生活支援プログラム（1）			6	講義
12	包括型地域生活支援プログラム（2）			6	講義
13	包括型地域生活支援プログラムの実際			6	講義
14	OTP理論			6	講義
15	これからの精神科領域の地域生活支援			6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		地域リハビリテーション論Ver3	大田仁史編	三輪書店	2006・2,400円
参考書		地域作業療法学	小川恵子編	医学書院	2005・3,800円
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 出席 授業態度 レポート 発表 期末試験			【履修上の留意点】 1. 地域ケア体系は激変期にある。情報をインターネット・新聞・TVから常に収集すること。 2. 保健・医療・福祉は在宅ケアへと大きくシフトしている。地域における作業療法指導・援助の実態を見学することを勧める。		